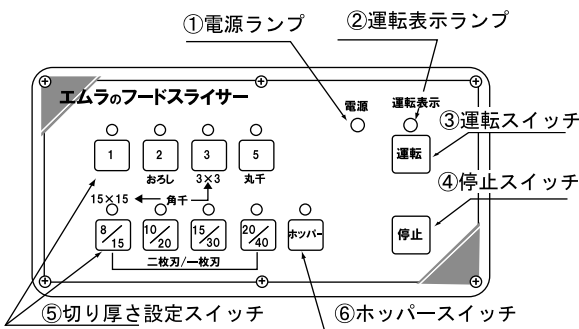


使用前に刃欠けがないか確認してください。

前扉を開き刃物アッセンのキー溝を主軸のキー位置に合わせて突き当たるまで押し込みます。固定ボルトを確実に締め付けます。

・口金と刃面とのすき間調整は取扱説明書を参照して下さい。一度調整した刃物は使用するたびに調整する必要はありませんが、機械にセットしたときに接触するところがないか確認してください

前扉を閉めてハンドボルトを確実に締めてください。



No.	名称	機能
①	電源ランプ	差込プラグをコンセントに差込み、電源スイッチ(コントロールボックスの下部)を「ON」にすると点灯します。
②	運転表示ランプ	運転スイッチを押すと点灯します。停止スイッチを押すと消灯します。
③	運転スイッチ	機械を起動する時に押します。
④	停止スイッチ	機械を停止する時に押します。
⑤	切り厚さ設定スイッチ	材料の切り厚さを設定するときに押します。押すとスイッチ上部のランプが点灯します。
⑥	ホッパースイッチ	斜め切りホッパーを使用する時に押します。押すとスイッチ上部のランプが点灯します。再度押すとランプが消灯し、解除されます。

操作方法

①電源スイッチを「ON」にすると操作パネルの電源ランプ及び、切り厚さ設定スイッチ1ミリのランプが点灯し、切り厚さは1ミリに設定されます。

* 他の条件で切る場合は、必要な切り厚さ設定スイッチを押して下さい。

- ②切り厚さ設定スイッチに記入されている数字は、切り厚さの数字となっています。上段の数字(1・2・3・5・)は2枚刃を使用する場合の切り厚さとなっており1枚刃を使用する場合は上段数字の倍数となり、それぞれの切り厚さは、2・4・6・10ミリとなります。下段の各数字は、斜線の左側が2枚刃、右側が1枚刃を使用する場合の切り厚さを示しています
- ③おろし円板を使用する場合は、切り厚さ2ミリに設定してください。
- ④千切り円板3×3を使用する場合は、切り厚さ3ミリに設定してください。
- ⑤丸千切り円板を使用する場合は、切り厚さ5ミリに設定してください。
- ⑥拍子木切り円板15×15を使用する場合は、切り厚さ8/15ミリに設定してください。
- ⑦斜め切りホッパーを使用する場合は、ホッパースイッチを押してから切り厚さ設定スイッチを押して下さい。

⑧[切り厚さ設定スイッチ]・[運転]の順序でスイッチを押します。

⑨用意した材料をコンベアに並べていきます。

⑩運転を止める場合は[停止]スイッチを押します。

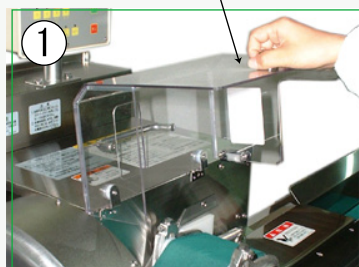
⑪作業を終える場合や終業時は必ず電源ボタンを「OFF」にして差し込みプラグを抜き、遮断器をOFFにしてください。

取扱説明書に記載されている安全警告・注意事項をよくお読みになり正しくお使いください。

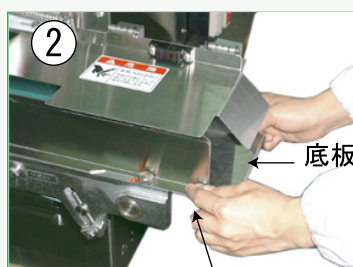
MG-201 (101)型フードスライサーの分解清掃

電源をすべてOFFにして刃物を取りはずしてください。

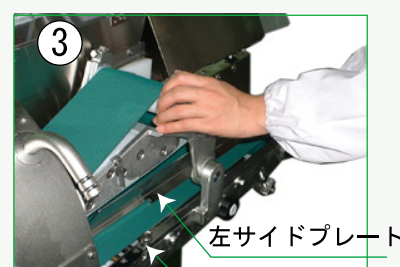
コンベアカバー



①コンベアカバーを開けます。

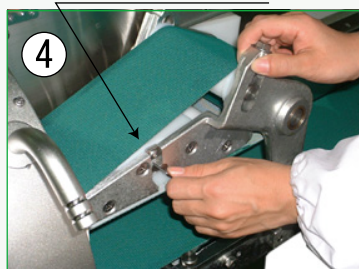


②底板のノブねじをゆるめて底板を引き抜きます。



③左サイドプレートのノブねじをゆるめて上コンベアフレームを持ち上げ左サイドプレートを少し後方に引いてから下側をコンベア側に寄せて、引き抜きます。

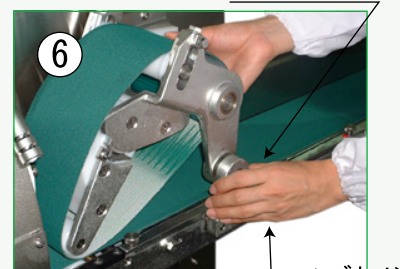
レバー、ロック軸



④上コンベアを持ち上げレバーを手前に引き出し、レバーでロック軸を180°回します。



⑤上コンベアフレームの先端を下側に押し付けて、上コンベアフレームを折り曲げます。

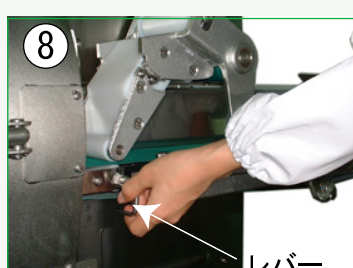


⑥ノブねじをゆるめて取り外し、ヒンジアームを手前に引き抜きます。

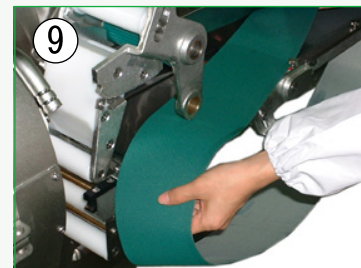
ヒンジアーム



⑦上コンベアフレームの先端からコンベアベルトを外し始めヒンジ部分をくぐらせるようにしてコンベアベルトを取り外します。



⑧下コンベアフレームのレバーでロック軸を約180°回して、先端部を下に折り曲げます。



⑨下コンベアフレームの先端部からコンベアベルトを外し始めると取り外せます。

フード円板、コンベアフレーム、ローラー、取り外した上下コンベアベルト等をきれいに洗浄して下さい。組み立ては逆の手順で行います。(ベルトが片寄らないように取り付けてください。)

取扱説明書を良くお読みになり正しくお使いください。